

さんぽくまちづくり通信

第 21 号

発行 山北地区まちづくり協議会

発行日 平成30年(2018年)3月15日

事務局 村上市 山北支所 地域振興課 自治振興室 (住所) 〒959-3993 新潟県村上市府屋 232
(TEL)0254-77-3111 (FAX)0254-77-2217 (E-mail)s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

地域の宝を活かす実践

3年間の活動を振り返って



地域おこし協力隊 大滝 順子さん

「まちづくり」「地域活性化」などと近年よく聞きます。私は地域おこしと酷似するアートマネジメンの経験と、山北へ移住したこの3年間を通じ、肝心さを痛感することがあります。考え方は人の数だけあり、すり合わせればつまらない。尊重もしたい。時代も変わる中で、目的を明確に捉え続けることです。私は山北で、皆さんの能力(特に高齢者)、自然環境と恵み、伝統文化が宝だということ。そして魅力鮮やかなこの暮らしは一年中忙しいということを知りました。少しづつ余裕を持ち、まずは絶滅危惧文化「しな布」を中心に、宝を活かすべく持続可能で皆さんと楽しめる仕事を作りたいと考えています。



▲中俣地区を紹介する冊子も作成

山北地区まちづくり協議会 委員募集のお知らせ

～一緒にまちづくり協議会を運営しませんか～

まちづくり協議会の目的

まちづくり協議会は、山北地区の集落の元気づくりと地域課題の解決などに地域住民と各種団体・事業所、行政が一緒になって取り組む活動を行います。

委員の活動内容

- ・集落活動の活性化の取り組みについての検討、実践支援
- ・地域課題の解決、地域活性化の取り組みについての検討、実践支援
- ・まちづくり計画の提案、実行
- ・まちづくり協議会の事業計画、予算等についての検討



応募資格

まちづくり協議会の目的に賛同する個人、または団体等で、委員として会議や活動と一緒に参加していただける高校生以上の方。(住所、職業等は問いません)

応募方法・申込期限

下記まで「申込書」を提出してください。申込書は山北支所にあります。

問い合わせ・申込み先：(事務局) 村上市山北支所地域振興課自治振興室 0254-77-3111

百姓やってみ隊 応援隊員募集

交流・定住促進事業の百姓やってみ隊の活動をサポートして下さる個人・団体を募集しています。



▲サツマイモ収穫の様子

- ①百姓隊畑の管理保全
- ②農作業指導
- ③百姓やってみ隊の活動全般をサポート

問い合わせ・申込み先：

(事務局) 村上市山北支所地域振興課 自治振興室 電話 0254-77-3111

イベント用品貸出 ご利用ください

綿あめ機、ポップコーン機、かき氷機、たこ焼き機、発電機、のぼり旗、テーブル、イス、テント、ハンズフリー拡声器



イス(二十脚)

集落や地域を対象に実施する事業への貸し出しは無料です。借用を希望する場合は、まちづくり協議会事務局までご連絡ください。

問い合わせ・申込み先：

(事務局) 村上市山北支所地域振興課 自治振興室 電話 0254-77-3111

子どもと取り組む魅力的な地域づくり さんぽく子ども映画塾



動画で伝える山北の魅力
ご当地PRムービーが完成!



▲ふるさとをPR! 企画会議も熱が入ります



▲人気漫画の「どこでもドア」を模した映画セット

皆さんの力を寄せ創りあげ

山北の魅力を活かした映画づくりを進める「さんぽく子ども映画塾」の取り組み。取り組みから3年が経過し、今年は「山北ご当地PRムービー心をとつに・・・さんぽくでまってるさげの」の制作を行いました。

主にさんぽく南小学校6年生が中心となり、基本的なPR内容の企画や構成、上映する場面など細かいところまで検討。山北地区の各所を紹介する場面の变化では、扉を開けると次々に代わる設定も子どもたちのアイデアで生まれています。

撮影は、夏休みも終わりに近づいた8月末の土日に行われ、これまでも経験したカメラや音響機器、撮影の進行をつかさどる監督までも子どもたちが手分けをして担当。それも指導いただいた市

民団体にいがた映画塾の皆さんや出演いただいた基石集落の皆さんをはじめとする地域の皆さんのご協力があった実現ができたことです。

考えをめぐらし、一人で出来ることもあるかと思えます。ただ、多くの事は様々な皆さんの協力があった成し遂げることができるものです。

今回のPRムービーも地域を担う子どもたちの力、それを見守り支えていただいた地域の皆さんの力、また、山北に思いを寄せる皆さんの力により完成したものです。この場をお借りし感謝申し上げます。

今後も、各種取り組みを進めていきますので皆さんからのご協力をお願いいたします。なお、作品は、近日中にまち協のHP上で公開するとともに広く周知をさせていただく予定です。

地域まちづくり組織・活動発表会 地域づくり自慢大会

平成30年2月17日(土)村上市文化会館にて第2回地域まちづくり組織・活動発表会「地域づくり自慢大会」(NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター主催)が開催されました。多彩な活動を行っている市内各まちづくり協議会の生の声を聴く機会を設け各協議会の活動に活かしてもらおうと開かれたものです。今号では、各まちづくり協議会の発表内容を紹介します。

共感
ヒント **交流**

つどい場「あら、ほっ」

あらかわ地区まちづくり協議会

酒井幸子さん

まちづくり協議会の拠点がほしいと思っていたところ、廃園となった保育園の跡地が利用できた。人が集まる集会施設は既にあるので、プラスアルファが必要だと考えアイデアを出し、自分たちの場所と考える場所「つどい場 あら、ほっ」を手作りで整備。ペンキ塗りの修繕作業に中学生が参加するなどしている。魅力ある場所として四つの活用を図った。

- ①「くつろぎ」を作るコミュニティカフェ
- ②子育て中の皆さんの自由な遊び場「あらしまベンダー広場」
- ③大人も子供も遊べる遊具「ピザ窯・ドラム缶風呂呂など」を手作り
- ④ラベンダーを育てている団体「ハブ・メイツあらかわ」の活動拠点

今後も、いろんな人を巻き込みながら、愛着を持って使ってもらえる拠点を作っていききたい。

地域の茶の間世話話人情報交換会

猿沢まちづくり協議会

高橋みゆきさん

高齢者などが元気に楽しく過ごせる地域の居場所を提供する地域の茶の間。立ち上げにまちづくり協議会も関わった。その活動を企画する世話人同士のネットワークを作り、互いの活動を語り合い刺激を受ける情報交換会を開始。意見交換のほか、村上市で行っている出前講座や閉校となる猿沢小学校の校歌の保存と健康増進を兼ねた「猿沢さわやか体操」などの企画を紹介した。また、地域の困りごとを話し合うなど課題解決型まち協の足掛かりにもなっている。今後も継続したい。

地域茶の間の世話話人情報交換会のように
「猿沢さわやか体操」を披露する猿沢まち協のみなさん

神林地区住民アンケート調査

神林地区まちづくり協議会連絡会議

「これからの二十年」の姿に衝撃を受け、世代別・男女別の課題やニーズ調査を中学生以上全員を対象に実施した。

松本富雄さん 瀬賀秀雄さん

集落課題解決取組発表会

平林地域まちづくり協議会

集落内で課題共有のため、意見交換を実施。取り組める課題から行い、その取り組みを共有する集落課題解決発表会を開催した。

松本富雄さん

三面地域まちづくり計画の変更について

三面地域まちづくり協議会

十年間のまちづくり計画を検証し、後期五年に向け、検証用の事業評価シートを作成。次に、継続・統合・廃止に仕分け、後期事業計画を作成した。

高橋章宏さん

研修事業

たかねまちづくり協議会

役員のスキルアップを目的に研修事業を実施。協働のまちづくりなどについても学習した後、意見集約の方法を身に付けるワークショップを体験した。

齋藤厚子さん

ゆめのまち ワクワク横丁

岩船まちづくり協議会

まちづくり協議会に元気女子会が発足。女性中心の祭りがしたい。また、出店者が減少してきた市に賑わいをと「ゆめのまちワクワク横丁」を実施した。

内山司さん

課題解決型事業への転換

山北地区まちづくり協議会

加藤英人さん

第二次まちづくり計画作成あたり、山北地区で抱える課題「地域の活動を担う人材不足」や「まち協は各集落や団体活動を支援する『現状は補助団体』ではないかとの声」があったため、取り組みの集約、地域と団体との連携や地域人材を育成する体制づくりを進め部会を再編。自分事として課題を解決できるように進める課題解決型へ転換。再編した部会では、既存の事業を引き継ぐ部分もあるが、新たに課題解決として取り組む事業の実施計画を検討。全三回の委員研修会のほか、「地域づくりの集い」にて明治大学小田切先生から講演や意見をいただくなどを経て検討を進め「人材バンクの創設」「買物支援」「集いの場づくり」に取り組むこととなった。

まちづくり協議会委員研修会
ワークショップ方式で意見交換
明治大学農学部小田切教授「地域づくりの集い」にて講演

動き出します！山北の課題解決への転換「人材バンクの創設」地域コミュニティ部会 越沢集落の方を迎えて中継集落「しめ縄づくり講習会」を支援

高齢者が増加する一方の山北地区。これからは気軽に集まれる場づくりが必要。では、まち協として取り組む場合、地域の茶の間など、各地域と同じことを取り組んでも…。やはり「集い」には人材が必要。人と人をつなげる仕組み作りから「集い」につなげていこう！ということで地域コミュニティ部会では「人材バンクの創設」に取り組むこととなりました。まずは、モデル集落から実施し、拡充する考えです。

最初に取り組んだのは、2月25日(日)に開催した中継集落の「しめ縄づくり講習会」支援。近年しめ縄のつくり手が少なくなってきた中継集落で、越沢集落から4名の方が講師としてお出でいただき指導いただきました。9時過ぎワラを打つ作業から始め昼12時半には無事完成。その後、交流会も行い、互いのつながりも強くしたところ。今後、まち協では、皆さんからも地域で抱える「課題」や解決できる「こと(わざ)」などの情報をお寄せいただき、つながるための仕組みも検討していきます。